

【重要】対象となるサーバーの中に「ゲストで認証できる共有フォルダー」が無い場合は、手順を進める前にあらかじめ作成してください。「手順⑥」において、共有フォルダーにゲストで接続する必要があります。

※アクセス権の確認方法、作成方法は各製品のマニュアルをご参照ください。

① Finderメニューの「移動」→「ユーティリティ」→「ターミナル」を起動する。

② ファイル「afp_A.sh」をターミナル画面へドラッグ&ドロップしてEnterキーを押す。

③ パスワード入力を求められるので、Macの「管理者パスワード」を入力してEnterキーを押す。

※ パスワードを入力してもシェルの画面上には表示されません。

パスワード入力後にEnterキーを押して、システム再起動を求めるメッセージが表示されれば正しく入力されています。手順④へ進んでください。

④ システム再起動を求められるので、Macを再起動する。

※ 「ライブラリ」→「Preferences」の中に「com.apple.AppleShareClient.plist」が作成されます。

⑤ システム再起動後、Finderメニューの「移動」→「サーバーへ接続」を選択する。

※ ここから手順⑦までは設定ファイルに変更を加えるための必要な操作です。スキップしないでください。

⑥ 接続したいサーバーにAFP接続し、ゲスト認証で共有フォルダーをマウントする。

※ ゲスト認証できる共有フォルダーが無い場合は、作成してください。

⑦ 共有フォルダーをアンマウントする。

※ AFP接続時に認証が可能になるように「com.apple.AppleShareClient.plist」にその内容が追加されます。

⑧ ファイル「afp_B.sh」をターミナル画面へドラッグ&ドロップしてEnterキーを押す。

⑨ パスワード入力を求められるので、Macの管理者パスワードを入力してEnterキーを押す。

⑩ システム再起動を求められるので、Macを再起動する。

※ AFP接続時に認証が可能になるように「com.apple.AppleShareClient.plist」の内容が変更されます。

⑪ システム再起動後、ユーザー認証でサーバーに接続できることを確認する。

⑫ 接続に成功すれば手順は完了です。

※ この手順のために「ゲストで認証できる共有フォルダー」を作成した場合、その共有フォルダーは削除してください。

<注意事項>

- ・ この手順は対象となるクライアントごとに必要です。
- ・ 一度手順を完了すれば、OSを再インストールしない限りこの手順を再度実行する必要はありません。
- ・ OSのアップデート、もしくはセキュリティアップデートを実施する場合は、アップデート前に弊社Webサイトの関連ページを必ずご覧のうえ、必要な手順を踏んでからアップデートしてください。
- ・ 設定変更前に戻すには「ライブラリ」→「Preferences」の中の「com.apple.AppleShareClient.plist」を削除して、システムを再起動してください。
間違えて他のファイルを削除しないでください。